



ニュース 2021年

12

月号

発行日： 2021年 11月 28日
発行者： カトリック横須賀三笠教会
TEL： 046-823-0042
FAX： 046-823-1031

e-mail : mikasa-church@aqua.ocn.ne.jp



たんじょう ま
メシアの誕生を待つ

みかさきょうかい しゅにんしさい はまさきまさみ
三笠教会 主任司祭 浜崎真実

ことし よぼうほう はいし ねん
今年は「らい予防法」廃止から25年、
くまもとちさいしゅうそはんけつ ねんめ ふしめ
熊本地裁勝訴判決から20年目の節目
とし ねん ぼうほう
の年です。1996年に「らい予防法」が
はいし じてん びょう
廃止になったその時点で、ハンセン病
びょうれきしゃ たい ほうりつじょう がいてき
病歴者に対する法律上の「外的
よくあつ
抑圧」はなくなりました。しかしながら2
ねん た しゃかい じょうきょう なん
年経っても、社会の状況は何ら
か
変わらないままでした。そのため1998
ねん にん げんこく こくばいそしょう
年7月に13人の原告によって国賠訴訟
ていき ねづよ
が提起されました。それは根強くある
へんけん さべつ がいてきよくあつ
偏見や差別という「外的抑圧」を
と のぞ と く どうじ
取り除く取り組みでした。同時に、ひとり
ひとり かくりせいさく ないめん
一人が隔離政策によって内面に
かたち ないてきよくあつ たいしよ
形づくられた「内的抑圧」に対処する

かてい い
過程でもあったと言えます。すなわち
げんこく ひと じ こひてい
原告の人たちにとっては、自己否定のス
た き と く
パイラルを断ち切る取り組みでもあった
のです。
だいいちげんこく にん ひとり
第一次原告の13人のうちの一人の
かた あ はな きかい
方と会って話す機会がありました。その
さい つぎ かた こくばい
際、次のように語っていました。「国賠
そしょう げんこく ひと くに
訴訟の原告になった人たちは、国をある
い み しんらい た あ
意味で信頼していたから立ち上がった
こくばいそしょう た あ
のだ。国賠訴訟で立ち上がれなかった
ひと くに しんらい げんこく
人たちは、国を信頼できないから原告
にはならなかったし、なれなかったのだ」
げんこく ひと ねが
と。すなわち原告となった人たちの願い
ひと ひと しんらい い
は、人と人がつながって信頼と言う
きずな むす なお めぎ
絆で結び直されていくことを目指して

いたのです。そして勝訴判決とその後の
と く ちんもく し
取り組みが、これまで沈黙を強いられて
びょうびょうれきしゃ おお かた
きたハンセン病 病歴者の多くの方た
じぶん かた だ なが
ちに自分のことを語り出すという流れを
つく だ けっか
作り出しました。その結果としてある
ていど しゃかい じょうきょう か
程度まで、社会の 状 況 を変えることに
つながりました。

じぶん びょうき かぞく
自分がこの病気になったばかりに家族
めいわく じせき ねん
にも迷惑をかけてしまった、と自責の念
か じぶん せ ひと
に駆られ自分を責めていた人たちにとつ
くに せいさく まちが だんげん
て、国の政策が間違いだつたと断言し、
よぼうほう けんぼういはん はんけつ
「らい予防法」は憲法違反との判決が
くだ わる じぶん
下されたことによって、悪いのは自分で
ところ おも
はなかったと心 から思えるようになり
じぶん ほう む
ました。そして自分の方に向かっていた
ないてきよくあつ やじりし ほうこう そと
「内的抑圧」の矢印の方向が外に
む
向かっていったのです。このように「らい
よぼうほう はいし のこ
予防法」の廃止でもまだ残っていた
がいてきよくあつ かいたい おお ひと
「外的抑圧」を解体し、より多くの人た
みずか ないめん ないてきよくあつ
ちが自らの内面にある「内的抑圧」と
む あ かいほう みちすじ
向き合いそこから解放される道筋を
あゆ
歩むことができるようになりました。そ
なが まわ ひと
の流れは周りにいる人たちにも
およ
及びました。

さべつ がいてきよくあつ さいせいさん
差別などの「外的抑圧」の再生産の
れんさ た き しゃかい もんだい
連鎖を断ち切るには、「社会の問題か
ところ もんだい にしゃたくいつ にぶんほう
心 の問題か」との二者択一や二分法で
わ き ところ
割り切れるものではありません。心 の
かたしだい かいけつ
もち方次第で解決されるものでもあり

じぶん い
ません。自分にとっての生きにくさと
しゃかい ゆが
社会の歪みとはつながっているのです、そ
りょうほう みす と く
の両方を見据えて取り組んでいくこと
たいせつ いや ところ
が大切なことです。癒しとか、心 のケア
はや じせい しゃかい
一などが流行っているご時世です。社会
ゆが め む
の歪みに目を向けることがないなら、
き も かたしだい しあわ
気持ちのもち方次第で幸 せ になれると
おも こ おちい けつきよく じ こ
の思い込みに陥り、結局は「自己
せきになん わく せま せかい
責任」という枠でくくられ、狭い世界の
なか と
中に閉じこもることになります。その
けっか じぶん じぶん ひてい
結果、自分で自分のことを否定
え じ こ ひてい ゆ つ
せざるを得なくなり、自己否定に行き着
いてしまいます。

びょうしゃ たい たすう
かつてハンセン病患者に対して「多数
もの あんぜん まも しょうすう
の者の安全を守るためには、少数の
もの ぎせい しかた
者のいのちが犠牲になるのは仕方がな
うつく
いこと、むしろ美 しい ことでもある」
かんが おお うば
との考 えで多くのいのちが奪われて
か せんべつ
きました。コロナ禍でもいのちが選別さ
しゃかいきはん き あ ひと
れ、社会規範や決まりごとに合わない人
た た はいじよ じしゅくけいさつ
を叩いて排除する「自肅警察」が
あらわ し じん じ こ せきになん
現れました。市民に自己責任を
し にゅういんちりょう じたくりょうよう
強いて入院治療はせず、自宅療養と
な じたくほうち お そうき
いう名の自宅放置が起きました。「早期
はっけんそうきちりょう いりょう げんそく
発見早期治療」が医療の原則ではない
にほんせいふ と く
のでしょうか。日本政府の取り組みを
あ ひょうげん じしゅく がまん じ こ
敢えて表 現 すれば「自肅、我慢、自己
せきになん おお ひとびと
責任」です。そのため、多くの人々は

不安を掻き立てられます。現在カトリックの某教区では「感染しない、感染させない」ことを念頭に他者への十分な配慮の実践を隣人愛として推奨する文書が出されてもいます。「感染しない、感染させない」ことが新たな規範や決まりとなり、それに沿わない人を排除することにつながらなければいいのです。が・・・。「感染しない、感染させない」取り組みは大事ですが、その前提として、「感染した人が最善の医療を受けることができ、回復のため安心して過ごせる環境の整備」こそが求められることではないでしょうか。個人の道徳やマナーの向上を呼びかける前に、社会のあり方を問うことが大事です。隣人愛の実践という大義名分が排除や分断につながる危険に対して、イエスならどう向き合うのでしょうか。

かつてイエスはその時代の最大の帝国によって支配されていたユダヤ民族のただ中で、マリアから生まれました。しかも誕生において「居場所」がなかったとルカ福音書は伝えます。そのことは

キリスト者にとって、神さまの働きの偏りを表現しています。なぜなら「けがれた罪びと」として差別と排除を受け、居場所をも奪われた側に神さまがおられ、働かれることを意味しているからです。

全ての人々が神さまの介入を喜んで迎えるわけではありません。救い主(メシア=キリスト)の到来を心の底から待ち望んでいる人がいます。同時に来てもらっては困るという人、どうでもいいという人もいます。救い主の到来を心待ちにしている人たちの側に立ってその人たちの声を聞いて付き添っていきたいものです。イエスを救い主と認め、その弟子としての生き方に連なることは、立場を選ぶことでもあるからです。

「まさか」と思うような場所で誕生した幼子イエスを救い主として祝うクリスマスにあたり、わたしの努力や熱心さという枠を越えて神さまの力が働く場から身体を運ぶことを自らの課題としながらメシアの誕生を待ちたいです。



きょうかいいいんかい
11月の教会委員会

かいさい きょうかいいいんかい ほうこく
11月 7日(日)に開催された教会委員会の報告です。

てんれいれき ぎょうじ
I. 典礼暦と行事

- 11月 1日(月)諸聖人の祝日
しよせいじん しゅくじつ
- 2日(火)死者の日 ミサ 10:00
ししゃ ひ
- 6日(土)福音宣教部会
ふくいんせんきょうぶかい
- 14日(日)講座「学び直しセミナー」(浜崎師)
こうざ まな はまさきし
- 21日(日)王であるキリストの主日
おう しゅじつ
- 講座「ナザレのイエスに出会う」(森山師)
こうざ で あ もりやまし
- 28日(日)待降節第1主日
たいこうせつだい しゅじつ
- 待降節黙想会 講話「メシア」(浜崎師)
たいこうせつもくそうかい こうわ はまさきし
- 典礼部会
てんれいぶかい
- 12月 4日(土)福音宣教部会
ふくいんせんきょうぶかい
- 5日(日)待降節第2主日 典礼部会
たいこうせつだい しゅじつ てんれいぶかい
- 8日(水)無原罪の聖マリアの祝日
むげんざい せい しゅくじつ
- 12日(日)待降節第3主日
たいこうせつだい しゅじつ
- 講座「学び直しセミナー」(浜崎師)
こうざ まな なお はまさきし
- 19日(日)待降節第4主日
たいこうせつだい しゅじつ
- 講座「ナザレのイエスに出会う」(森山師)
こうざ で あ もりやまし
- 24日(金)主の降誕(夜半)
しゅ こうたん やはん
- 25日(土)主の降誕(日中)
しゅ こうたん につちゅう
- 26日(日)聖家族の祝日
せいかぞく しゅくじつ

ほうこくじこう
II. 報告事項
けんしんしき
1. 堅信式

- ねん よてい ねん じゅけんしゃ めいぼ かくてい じゅんび
2023年を予定し、2022年より受堅者の名簿の確定などの準備にはいります。
おおそうじ ことし おこな
2. 12月の大掃除は今年も行いません。

じかいきょうかいいいんかい
次回教会委員会 2021年12月5日(日)11:15から



お知らせ

しゅじつ し
12月、2022年1月の主日のミサについてお知らせします。
さんかにんずう せいげん ひ つづ ち く わ
参加人数を制限するため、引き続き13ある地区を2つのブロックに分けて
おこな しゅ こうたんやはん かみ ははせい さいじつ
行います。ただし、主の降誕夜半(24日)と神の母聖マリアの祭日(1月1日)は
ち く べつ かくにん
地区別ではありませんので、ご確認ください。

たいこうせつだい しゅじつ
12月5日(日) 待降節第2主日
だい ち く だい ち く
第7地区～第13地区

たいこうせつだい しゅじつ
12月12日(日) 待降節第3主日
だい ち く だい ち く
第1地区～第6地区

たいこうせつだい しゅじつ
12月19日(日) 待降節第4主日
だい ち く だい ち く
第7地区～第13地区

しゅ こうたん やはん ち く べつ
12月24日(金) 主の降誕(夜半) ※地区別ではありません
① 15:00

せい いか たい
② 19:30(19:10聖歌隊によるキャロル)

しゅ こうたん にっ ちゅう
12月25日(土) 主の降誕(日中)

だい ち く だい ち く
① 9:00 第1地区～第6地区

だい ち く だい ち く
② 11:00 第7地区～第13地区

- 12月26日(日) せいかぞく しゆく 聖家族(祝)
だい ちく だい ちく 第1地区～第6地区
えいごみさ ※英語ミサ 15:00
- 1月1日(土) かみ ははせい さい ちくべつ 神の母聖マリア(祭) ※地区別ではありません
- 1月2日(日) しゆ こうげん さい 主の公現(祭)
だい ちく だい ちく 第7地区～第13地区
- 1月9日(日) 主の洗礼(祝)
だい ちく だい ちく 第1地区～第6地区
- 1月16日(日) ねんかんだい しゆじつ 年間第2主日
だい ちく だい ちく 第7地区～第13地区
- 1月23日(日) ねんかんだい しゆじつ 年間第3主日
だい ちく だい ちく 第1地区～第6地区
えいご ※英語ミサ 15:00
- 1月30日(日) ねんかんだい しゆじつ 年間第4主日
だい ちく だい ちく 第7地区～第13地区



2021年ピース・フェスティバルフィールドワーク(軍港視察に参加して)

さいとう たみこ
齋藤 民子

10月24日(日)午後1時。私 は 只々も
し おも さんか
と知らなければという思いで参加していま
きょうかい はまさきしんがさま かねこ
した。教会からは浜崎神父様と金子さんと
わたし にん ぐんこう せん
私の3人だけでしたが、軍港クルーズ船ト
まんいん ひ
ライアングルはほぼ満員でした。その日は
てんき よ ろうにやくなんによこども ふく にん
天気も良く、老若男女子供も含め40人く

かた じょうせん おも
らいの方が乗船していたと思われます。ヨ
へいわせんだん かた こうないしせつ せつめい
コスカ平和船団の方の港内施設の説明が
じょうせんちゆう なが ま
乗船中ずっと流れていて、あっという間の
じかんはん
1時間半でした。
わたし よこすか う そだ ねんいじょう
私は横須賀で生まれ育ち、40年以上
す かかわ
住んでいたにも拘らず、あたりまえのよう

よこすか ぐんこう ふうけい たいけん
にある横須賀の軍港の風景が、この体験を
き
機にあたりまえでないということに
きづ いまさら じぶん むち
気付かされ、今更ながら自分の無知と
むかんしん は
無関心を恥じました。
こうない あづましま きよだい ちよゆしせつ
港内にある吾妻島には巨大な貯油施設
つね せんかん どうりよく あぶら
が常に戦艦にその動力である油を
きょうきゅう そうび
供給できるよう装備されていました。その
となり だんやくこ いま みんか
隣には弾薬庫がありました。今は民家から
ほあんきよりがい あら
の保安距離外(570m)ですが、新たに
よこすかこう たうらえきふきん なが みなと
横須賀港(JR田浦駅付近から眺める港)に
とう だんやくこ けんせつちゆう
2棟の弾薬庫を建設中であるとのこと
あたら だんやくこほあんきよりにない
そしてその新しい弾薬庫保安距離内には
こいじょう じゅうたく ぞんざい
500戸以上の住宅が存在しているという
ながうらこう かいじょうじえいたい
ことです。また長浦港には海上自衛隊の
ごえいかんたい しれいぶ べいかいぐんかんせんぼこう
護衛艦隊の司令部もあり、米海軍艦戦母港
ぼこう かんせん じゅう でい
(母港とはある艦船が自由に出入りでき、
しゅうり ほきゅう じゅうぶん のりくみいん かぞく
修理、補給が十分できかつ乗組員の家族
みなとちか す きゅうよう みなと
が港近くに住んでいて休養ができる港
しき しれいぶ
のことで)を指揮する司令部もあるという
よこすか にほん ゆいいつ みなと
ことで、横須賀は日本で唯一の港だそう
です。

ねんまえ せいりつ あんぼかんれんほう
4年前に成立した「安保関連法」のひと
じゅうようえいきょうじたいほう こうほうしえん
つ「重要影響事態法」により、後方支援が
かのう じっさい ば べいぐん
可能となり、それが実際の場では米軍と
じえいたい いったいか いみ
自衛隊の一体化を意味しています。また、
ねん べいかんせん かん こうこう
2020年の米艦船イージス艦は「航行の
じゅうさくせん しょう みなみ かい たいわん
自由作戦」と称して、南シナ海や台湾
かいきょう こうこう よこすかほこう
海峡を航行するにあたり横須賀母港はそ
じゅうよう きよてん かん
の重要な拠点です。(イージス艦とは
こうせいのう
高性能レーダーにより、コンピューターの
じどうしより さいだいしやてい いじょうけい
自動処理により最大射程100 km以上迎
こうげきかのう はっしやき ちとうさいかんせん
攻撃可能なミサイル発射基地搭載艦船のこ
とです。)
わたし いま つうきん よこすかえき りよう
私は今、通勤にJR横須賀駅を利用して
すうかげつまえ えき おた
いますが、ここ数か月前から駅に降り立った
とき みなと ほう いよう じひび
時、港の方から異様な地響きのようなガー
おと き ふつう
ンガンという音が聞こえていました。普通
まちなか こうじげんば き
の町中での工事現場では聞いたことのない
きょうれつ おと なに
強烈な音で、ずっと何をしているのだろ
おも きょう しさつ
う…?とっていました。今日の視察でそ
あたら だんやくこけんせつ こうじ おと
れが新しい弾薬庫建設の工事の音だった
ひ あせ で おも
ことに冷や汗の出る思いでした。



ふくいんせんきょうぶかい し
福音宣教部会からのお知らせ

ふくいんせんきょうぶかい
1. 福音宣教部会のめざすもの

ぶかい じゅんびだんかい かぞ ねん
部会も準備段階から数えると1年を
こ
超えたので、なにをめざしているのか、
いちどかんが
もう一度考えてみました。
おおたみちこ かみ まつ
太田道子さんの「神のことばと祭り」で「ミ
かみ やくそく こうしん
サとは神との約束の更新」であるということ
おし き
を教えていただいたので、よいことを聞いた
おも やくそく じっごう
と思い、「約束」をしたからには、「実行」がな
おもい つぎ
ければいけないのだろうと思い、次のようにま
とめてみました。
かみ やくそく こじん
『ミサの中の神との約束』を個人として

じつげん
もコミュニティとしても実現できるようにす
きょうかい そしき
ることを『教会のしごと』として組織し、
じっごう
実行すること。」
か
書いてみて、すっきりとしないし、わかり
てきかく
やすくもない。でも、とりあえずもった的確
ことば ざんていてき
な言葉になるまでの暫定的なものというこ
とにしてください。

みつ
2. 三つのしごと

ぶかい
そこで部会でやろうとしていることをまと
つぎ みつ
めると次の三つになります。しかし、この
みつ ぶかい
三つをわれわれの部会だけでできるかと
い むずか
言えば、それはとうてい難しく、またすぐに
じつげん いちにねん せいか
実現できるかといえば、一二年で成果がで

おも きょうかい
るとも思えません。われわれとしては教会
ぜんたい すく にさんねん ちゅうちようき
全体で少なくとも二三年の中長期スパン
と く ほうしん ていあん
で取り組む方針として提案したいと
かんが
考えます。

かみ くにうんどう けいしやう
(1)「イエスの神の国運動」を継承しよう！

きょうかいいんかい ぎやうじ きょうかい
教会委員会も「行事をこなす教会では
ふくいん い きょうかい
なく、福音を生きる教会」をめざすと
い まった だいさんせい ふくいん
言っています。全く大賛成ですが、「福音
い きょうかい なかみ と
を生きる教会」の中身を問わなければなら

おも
ないと思います。
あくま はら やま ひと いや つみ
悪魔を払い、病いの人を癒し、「罪びと」と
の く おこな
飲み食いされたイエスのあの行いを
ねん じつげん こだい
2021年ヨコスカで実現するとしたら、古代

げんだい
と現代のちがいはあるけれども「できること、
おも はんい
すべきこと」を、できる範囲で、その
きょうどう うんどうたい
つど協働する運動体をめざすことにほか
かんが
ならないのかと考えます。

げんだい かだい かんしん も
現代ヨコスカの課題に関心を持ち、
と く
取り組むとしたらどうしたらよいか、わか
ちやくしゆ
らないことだらけですが、ともかく着手して
かんが
みたいと考えています。

ふくいん もと ひと まな よ
(2)「福音を求めている人」に学びなおしを呼びかけよう！

もりやましん ぞう ぱさま
森山信三神父様の「ナザレのイエスに
であ わかて たいしやう こうざ
出会う」は若手を対象とした講座として
きかく おお ひと さんか
企画され、多くの人の参加をいただきよかつ
おも どうしよ きょうかい き
たと思っています。当初、教会に来ている
わか ひと さそ
若い人々を誘おうとあれこれ
かんが き もんだい
考えましたが、はたと気がつき「問題は
いま ひと
『今ここにいない人』なんだ！」と
おも あ
思い当たりました。
だいこうはん ぜんはん ぜんげんえき せだい
10代後半から40前半の全現役の世代
じじつじやう きょうかい か
がどうして事実上すべて教会から欠けてし
お
まうようなことが起きたんだろう。それは
しごと こそだ かた きょうかい
「仕事、子育てを語れる教会」になっていな
い あた
かったから、「生きるかてを与えられる

きょうかい
教会」になっていなかったから、そしてなに
まな ほしやう
より「学びなおすチャンス」がちゃんと保証さ
れていなかったからなのではないかと
かんが
考えます。
いま ひと なか ふくいん
「今ここにいない人」の中に「福音(よきし
もと ひと かなら
らせ)を求めている人」は必ずいると
おも ひと まな
思います。そういう人たちに「学びなおす
チャンスはいつもあるんだよ」と
よ おも げんえき ひと
呼びかけたいと思います。「現役の人が
こ きょうかい おお しごと
来れる教会」をめざすという大きな仕事
そしきぼうえいてき
があります。ただし、これを組織防衛的な
うし む きょうかい もど うんどう
後ろ向きの「教会に戻れ運動」にならない
ようにしましょう。

しょうがい まな つづ きょうかい
(3)「生涯、学び続ける教会」になろう！

きやう まな
あなたのキリスト教はいつ学んだキリス
きやう ねん いま
ト教でしょうか。2021年の今、それが
おも こ だれ ほしやう
「思い込み」になっていないと誰が保証で

ひ あら
きるでしょうか。わたしたちは「日ごとに新た
ひつやう
になる」必要があります。
だいに こうかいぎしゅうりやう ねん
第二バチカン公会議終了から55年

いじょう けいか こうかいぎ せいか
以上も経過しているのに公会議の成果が
いったい りょうかい
一体なんであったのかわたしたちは了解し
ているのでしょうか。「福音の生涯学習」
かくほ
のしくみを確保しましょう。そのためには

こうざたんとうしゃ きほんとしょ
講座担当者、カリキュラム、基本図書など
おお じょうけんせいび もと おも
多くの条件整備が求められると思います。
おも こ まな
しかし、「思い込み」をやめ、「学びなおす」し
あたら みち
か新しくなる道はないのです。

ぶんせき め おたかお
(文責 名生尚雄)



こうほう あんない
広報からご案内

かなざわ ゆきのした ずし おおつ かくきょうかい こうほうし としょかんいりぐち たな お
金沢、雪の下、逗子、大津の各教会からの広報紙を図書館入口の棚に置いて
みな らん
あります。皆さまぜひご覧ください。
なお だい ちく きょうかい かなざわ ゆきした ゆいがはま ずし みうらかいがん
尚、みかさニュースは、第4地区7教会、金沢、雪の下、由比ヶ浜、逗子、三浦海岸、
おおつ おく
大津にお送りしています。